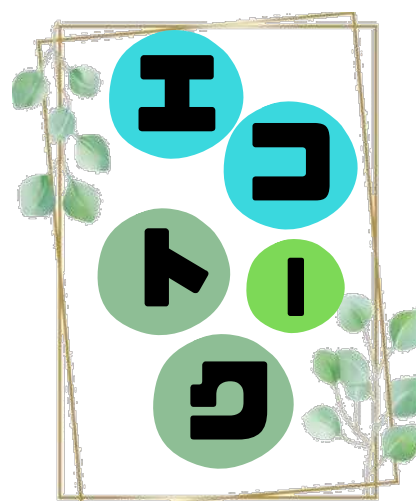


宇美町



(2022年広報1月号)



宇美町にお住まいの皆さん新年明けましておめでとうございます。

コロナウイルスが確認されて3回目のお正月を迎えましたがいかがが過ぎですか？ 世界中で変異した新型株が次々と確認され、終息宣言はいつになるのか懸念されています。

一方で50年後・100年後の深刻な問題として各国間で議論されているのが地球温暖化の現状です。

国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第一作業部会から8年ぶりに公表された第6次評価報告書では「人間の影響が温暖化を引き起こしているのは疑いの余地がない！」とはじめて明記されており、CO₂及びその他の温室効果ガスの排出量が大幅に削減しない限り、今後20年間で産業革命前からの気温上昇幅が今世紀末の目標であったはずの1.5℃に達してしまう可能性がある」と警告しています。

11月にイギリスのグラスゴーで開かれた国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)では、南太平洋周辺の島国から地球温暖化との関連が指摘されている気象災害による深刻な被害を訴える声が相次ぎました。気温上昇に伴い海水温が上昇すると降雨量が増えるだけでなく積乱雲発生の多発化によって台風が多発化・強化が懸念されているのです。前述のIPCCは、1995〜2014年を基準とした2100年までの世界平均海面水位が最大1.1メートル上昇するとの最新予測を公表しました。

京都大学防災研究所が地球温暖化の沿岸域への影響を定量化した「気候変動に伴う波浪の将来変化予測」では、沿岸部の脅威は海面上昇だけではなく高波や高潮など海の波(波浪)のエネルギーも増大し、砂浜の生態系を変化させ人類に深刻な影響を長期的に及ぼすことになる」と警告しています。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆